

Ⅲ

留学生支援ボランティア(年次報告(平成28年度後期  
・29年度前期))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 熊井, 浩子, 袴田, 麻里 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00024879">https://doi.org/10.14945/00024879</a>

### Ⅲ. 留学生支援ボランティア

熊井 浩子／袴田 麻里

留学生支援ボランティアは平成14年度より活動が始まったが、29年度は12月現在で静岡キャンパス35名、浜松キャンパス37名、計72名となっており、静岡キャンパスでは、減少傾向が続いている。そのうち浜松は3名が留学生である。部局別登録者数は、以下の通りである。

年度	人文(社会科学)	教育	農	理	工	情報	合計
15年度	7	22	8	0	4	5	46
16年度	24	21	8	5	5	6	69
17年度	13	26	5	10	7	6	67
18年度	19	44	5	4	16	6	94
19年度	29	46	6	3	9	5	98
20年度	43	40	7	3	19	4	116
21年度	36	31	5	5	20	6	103
22年度	40	35	4	6	26	14	125
23年度	46	30+2=32	6+1=7	6+2=8	13+5=18	11	122
24年度	18	23	5+1	5	20+10	13	84+11
25年度	39	23	4+1	4	20+9	12	103+10
26年度	37+1	24+1	1+1	4	23+4	23	112+7
27年度	28+1	20	2+1	6	23+5	25+1	104+8
28年度	21	20	0	5+1	26+6	27	99+7
29年度	14	14	3	4	16+4	17	58+4

\* +の前が学部生、あとが大学院生である。総合科学技術研究科は専攻により集計。  
+がないものは学部生のみ。

留学生支援の主な活動内容は以下の通りである。

#### 1) 日本語教育支援

国際交流センターで行われている日本語授業に参加し、留学生の日本語学習を支援する。具体的には、会話の相手、討論会での意見交換、異文化授業への参加、留学生発表会の見学などがある。その他、授業外に日本語の勉強のサポートや会話のパートナーになってもらう例もある。

#### 2) 生活支援

日本に慣れない留学生のために、日本の生活を紹介する。友人を紹介したり、街の中を案内したり、買い物を手伝ったりする。

### 3) 日本文化紹介

日本に関係することで、得意なこと、好きなことを留学生に披露する。特に、茶道や書道、柔道や剣道、折り紙やあやとりなど、伝統的な日本文化を留学生に伝える。

### 4) イベントへの参加

国際交流センターで企画するイベントに主催者側または参加者側として参加する。

これらの支援活動は、留学生支援が必要となったり、交流活動があったりする場合、Eメールによって登録されたボランティア学生に直ちに連絡され、都合のつくボランティアが参加するという形をとっている。

静岡キャンパスでは、上記のような活動のほかに、例年通りサマースクール（6月下旬～7月上旬実施）で来日する留学生のために支援グループを募り、3週間にわたって交流活動を行った。毎年このサマースクールを経て、交換留学生として戻ってくる留学生もおり、ボランティアとの交流がその大きなきっかけとなるなど、非常に重要な活動となっている。特に今年度はリーダーが力を発揮してくれたため、非常に充実した活動となった。

また、11月と5月にはボランティア学生と留学生との交流会が開催され、交流を深めた。この他にも、会話パートナーや校外学習や日本語授業に参加するなど、交流が行われている。ただし、昨年同様、学内外での他の活動との日時のバッティング等もあり、活動によっては参加者が集まらないこともあった。新たな登録者獲得のための方策が必要であるといえる。特に29年度は、留学経験者が中心になって新たなイベントやサークルをスタートさせており、それ自体は喜ばしいことではあるが、必要に応じて連携を図るなどの交通整理が今後の課題である。

浜松キャンパスでは、主として交流イベントの企画・参加が非常に活発に行われた。バーベキューやスポーツ大会など学生自身が企画し、交流を深める機会を作った。日本語学習支援は昨年度に引き続き少なかったが、工学部からの依頼により、平成28年度入学のABP学部生に対する補習（日本語、数学など）を、留学生支援ボランティアの学生に委託して実施した。

このように留学生と日本人学生との交流活動が行われているが、日本人学生が企画しても、なかなか参加者が集まらないことが何度もあった。これは、留学生の都合や好みを把握できていないこと、イベント実施に注力し、交流を深める方向へ目が向かないことが原因であろうと思われる。何のために企画するのかは指導する必要がないと考えていたが、今後は留学生のニーズを聞き取ることなど適宜アドバイスしたいと思う。

両キャンパスともに今回も、この活動をきっかけとして留学に興味をもち、交換留学・ILUNO・VSCPなどの大学プログラムその他で留学する学生も多く、反対に、留学後に支援ボランティアに加わるケースもあった。国際連携推進機構でも、この活動が次のステップへと結びつくよう、国際交流イベント・留学プログラム等の情報提供等を積極的に行って支援している。